

日奈久っ子



八代市立日奈久小学校
学校便り 第13号
令和2年1月15日発行
文責 中村

日奈久プライド「えがお・やるき・げんき」

明けましておめでとうございます～挨拶は心をつなぐ魔法の言葉～

令和になって初のお正月を迎えました。今年の年末年始は普段より休みが長かったこともあり、それぞれのご家庭で素敵なお正月をお迎えのことだったと思います。

令和2年、今年も日奈久っ子の成長を見守り、職員一同できる限りの学校教育を行っていきます。保護者の皆様、本年もどうぞよろしくお願いいたします。

さて、1月8日（水）の始業式では「挨拶」の話をしました。子供達の「おはようございます」は私の「元気の素」です。中には「校長先生」と呼んでくれた後「おはようございます」と言ってくれる子供もいて、とてもうれしく思っています。挨拶には、たくさんの言葉があります。子供達はその場その時に応じた「あいさつ」をよく知っています。始業式の日には新年の挨拶「明けましておめでとうございます」と言ってくれた子供もたくさんいて感心しました。

その「あいさつ」の事で2学期に気づいたのですが、朝の挨拶と比べると、帰りの挨拶があまりできていません。そこで、3学期は「その場、その時にあった挨拶や返事をいつでも・どこでも・気持ちよく」というめあてを子供達に示しました。挨拶は人の心を結ぶ魔法の言葉です。ご家庭でも、さまざまな挨拶をお子様と交わされるよう心がけていただければと思います。

3学期もがんばるぞ！

- | | |
|---|--|
| 1 | その場、その時にあったあいさつや返事をいつでも・どこでも・だれとでも・きもちよく |
| 2 | 相手の気持ちになって「かんしゃの心」で言葉づかい |
| 3 | 「なっとく」「はてな？」を自分の言葉で伝えよう。（やるきいっぱい） |
| 4 | 自分で気づき 考え 行動 する
★特に家庭学習とそうじ |
| 5 | 心を整え 落ち着いた生活を。
はきもののかかとをそろえる |

「輝け!日奈久小大失敗選手権大会」の開催について

2学期末に「成功の反対は失敗ではなく挑戦しないこと」という話を子供達にしました。子供達には自分の目標に向かって挑戦してほしいと思っています。そこで、子ども達にどんどん失敗してもらおうと、1月8日から3月6日までに、上記の大会を開きます。子供達（先生方も）の大失敗を「よくやった!」と褒め称えた賞を贈りたいと思います。挑戦に失敗はつきものです。どんどん挑戦し、どんどん失敗しましょう。



自ら気づき・考え・行動する子供を育てるために

現代は、誰かの指示がないと動けない「指示待ち人間」が多くなっていると言われます。「～しなさい」「～しちゃだめ」等の声かけが多くなると「失敗したら怒られる」「否定された」という経験が積み重なり、「怒られるといやだ。それなら怒られる前に聞いておこう。言われたことだけやっておこう」等の心の動きになり、指示があるまで動かない（動けない）指示待ち人間になってしまうのです。そうならないための声かけのポイントは次の3点だと言われます。

1点目は「認める」こと。基本的には子供の「やりたい」を達成させることです。望ましくない行動でも、「だめ」等と否定するのではなく、「それをされると困るから、こうしてくれると助かるんだけどな」等、困る理由を説明し、どうしたらいいか子供に考えさせることです。

2点目は「許す」こと。命に関わるようなことは、全力で止めなければいけません。命に関わらない事なら、失敗した時に「なんでそんなことするの!」ではなく「あ～あ。やっちゃったね。どうすればいい?」等、聞いてみることです。自分で考えさせる癖をつけさせます。

3点目は「どうしたらいいか聞く」こと。例えば、「トイレに行っていていい?」「これで遊んでいい?」と尋ねてきた時「あなたはどうしたいの?」と逆に聞いてみる。自分で決めるチャンスを与えます。

要は「子供自身が考える」ことです。子供のやりたいようにさせ、失敗を許すのは大人としては難しいことです。でも、先回りしすぎて、失敗から学ぶ機会を奪うことのないようにしたいものです。



インフルエンザ流行のため延期になっていた「人権集会」を1月9日（木）に行いました。3名の人権擁護委員さんにおいて頂き「みいつけた」のアニメを見て考えたことや自分や友達のいいところについて意見交換をしました。子供達の素敵な温かい意見に人権擁護委員の皆さんも感心しておられました。



